

佐賀大学 産学交流プラザ

OPEN !!

本学では、「地域に開かれた佐賀大学の形成」を目指し、令和3年秋、本庄キャンパス正門エリア付近において「佐賀大学産学交流プラザ」を整備しました。産学交流プラザを本学と地域産業界との中継地と位置づけ、さらなる連携強化を図るとともに、大学発ベンチャーの集積地とすることを目標としております。



産学交流プラザの特徴 その1

◎佐賀大学の歴史とユニークな研究を紹介する インフォメーションコーナー

インフォメーションコーナーでは、設立時からの本学の歴史や、最新の面白い研究等をご紹介します。足で操作できる（荷重操作）スクリーン等もありますので、是非ご体験ください。 ※インフォメーションコーナーの詳しいご紹介は最終ページ



産学交流プラザの特徴 その2

◎佐賀大学発ベンチャーの集積による研究の活性化 学生ベンチャースペース

2階は佐賀大学発ベンチャー企業やベンチャーを支援する企業等の入居スペースとなっています。一堂に集積することにより、ベンチャー活動や研究が活性化される効果を期待しています。

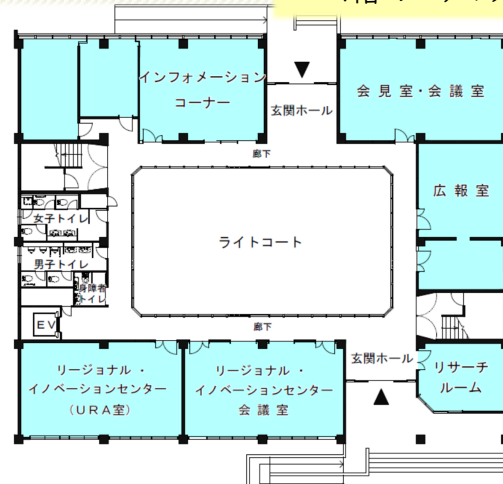


産学交流プラザの特徴 その3

◎リージョナル・イノベーションセンターの移転による研究支援体制の強化

リージョナル・イノベーションセンターは理工学部8号館から産学交流プラザ1階に移転しました。外部の企業様等がご相談にお越しいただきやすい場所になっており、更なる産学交流の活性化を目指しています。

1階 フロアマップ



そのほかにも、1階には広報室が移転し、広報活動をさらに強化していく予定です。
中央のライトコートはウッドデッキ調の吹抜けて、開放感のある建物になっています。



3階には社会連携課、研究協力課、学術研究協力部長室等が移転します！

研究紹介

鹿島プログラム ー鹿島アートプロジェクトー 鹿島錦の映像記録制作を行いました

本学芸術地域デザイン学部石井美恵准教授は、自治体連携プロジェクトである鹿島プログラム「鹿島アートプロジェクト」の一環で、鹿島錦の歴史と現況をたどる記録映像を制作しました。また、令和3年11月6日・7日に、佐賀大学美術館において「きてみんしゃい!佐賀大学へ 鹿島アートプロジェクト 鹿島錦の記録保存と継承の成果展示」を開催しました。



研究者紹介

芸術地域デザイン学部

石井 美恵 准教授

分野:キュレーション

専門分野:アートキュレーティング、博物館
資料保存(テキスタイル)

博物館資料保存をめぐる芸術と保存倫理、素材と製作技法と劣化、保存修復技術、展示と活用、有形文化財を継承するための伝統技法の継承(生きている文化財)についてテキスタイルを対象に研究。また美術技法史の視点からテキスタイルの色彩を素材の科学分析と史料から解明する研究と、文化遺産保護の国際協力を通じて海外の博物館専門職に資料保存の実務を教える教育支援も行う。



「鹿島錦」のお話

「鹿島錦」と「佐賀錦」は元々鹿島で発祥した「組織^{くみおり}」であることをご存知でしょうか。経糸に和紙、緯糸に絹糸を用い、卓上機、竹篋で経糸をひろいながら織る精緻で艶やかな彩のある織物です。日清戦争ごろから東京で佐賀錦と呼ばれるようになり、鹿島では鹿島錦と呼ばれるようになったことが近年の研究からわかってきました。「くみおり」は鹿島鍋島家第9代藩主夫人 鍋島篤子が考案されたとされ、歴代藩主のご婦人方により工夫改良を重ねられ、そこに仕えた女性たちから広がりました。戦後は鹿島ではほとんど織る人がいなくなり、「鹿島錦」という名称よりも「佐賀錦」のほうが一般化しました。昭和43年に鹿島錦保存会が発足し、40数名の会員が「鹿島錦」の伝統を今日まで継承しています。

文化財の記録保存を遺したい 石井准教授の思い

染織品の歴史や保存修復を研究している石井准教授は、鹿島錦の美しさに心を打たれたが、その関連する研究等が少ないことに気が付き、自らも支援に協力した東日本大震災で多くの文化財が失われた教訓から、文化財は地域の拠り所であるため、記録保存することの意義を感じているといいます。

104歳の織り手が語る鹿島錦の歴史と現況

今回の記録映像制作にあたり、祐徳博物館、鹿島錦保存会会員、そして104歳(撮影当時)の現役織り手である樋口ヨシノさんに協力頂きました。祐徳博物館の鹿島錦資料を高精細のデジタルカメラで撮影、樋口さんのインタビュー及び長編の映像記録をつくり、さらに保存会の方々のデモンストレーションによって技術的な記録を映像にしました。これらは鹿島錦の一時点での記録として残すためです。そして映像の一部を編集し、鹿島錦の歴史と現況をたどる一般視聴用の短編映像を制作することにより、鹿島錦、佐賀錦への理解を深め、江戸末期から現在まで伝統を次世代へ継承させる一助になることを期待しています。



『きてみんしゃい!佐賀大学へ』成果展示の様子

「鹿島プログラム」とは...

鹿島市との間でこれまで連携してきた「町並み保存再生研究(肥前浜宿整備など)」、「干潟交流館事業」に加え、令和2年度より4つのプロジェクトを新たに加えた6つのプロジェクトを『鹿島プログラム』として始動させ、鹿島市における地域創生モデルづくりに動き出しています。



< 鹿島プログラム 6つのプロジェクト > ※「鹿島プログラム」は本学のビジョン実現プロジェクト(ビジョン2030)の支援を受けています。

- ・町並み保存再生研究
- ・干潟交流館事業
- ・鹿島アートプロジェクト
- ・コホート研究: The Kashima Scan Study
- ・インバウンド観光振興をテーマとした留学生/日本人学生による課題解決型研修
- ・民泊AIシステム構築-3者マッチングシステム-に関する研究

AWARD

理工学部 武富紳也 准教授が日本計算力学連合よりJACM Fellows Awardを受賞しました!

本学理工学部の武富紳也 准教授が、日本計算力学連合(Japan Association for Computational Mechanics; JACM)より、**JACM Fellows Award** を受賞しました。この賞は、計算力学分野で顕著な業績を上げ、JACMへのサポート、および国際計算力学連合(International Association for Computational Mechanics; IACM)の関連国際学会に貢献した研究者に対して、毎年5名以内を選定して贈呈されるものです。

武富准教授は、これまでに取り組んできた、電子/原子スケールシミュレーションやスケール横断的なマルチスケール解析を通じて材料強度の諸問題に取り組んできました。これらの研究成果の一部は、IACM情報誌「IACM expression」の表紙を飾るなど、国際的にも高く評価されており、本受賞に至りました。



理工学部 中山功一准教授が情報処理学会の2021年度 山下記念研究賞を受賞しました!

本学理工学部の中山功一准教授が、情報処理学会の2021年度(令和3年度)山下記念研究賞を受賞しました。

一般社団法人情報処理学会は、昭和35年に設立された情報処理分野における日本最大の学会です。山下記念研究賞は、情報処理学会により昭和62年に創設された賞で、毎年、前年度に発表された研究会論文およびシンポジウム論文の中から特に優秀な論文が選ばれ、その発表者に授与されます。

中山功一准教授は、令和2年8月28日に開催された情報処理学会アクセシビリティ研究会(第13回研究会:2020-AAC-013)で発表した「在宅認知症者を支援する「拡張認知機能」の提案〜スマートエアリアルハンド:Sahasraの構想〜」が、山下記念研究賞選定委員会にて高く評価され、同賞に選定されました。

同賞の表彰式は、令和4年3月に開催が予定されている情報処理学会全国大会にて実施され、賞状、賞牌および賞金が授与されます。

株式会社山城機巧(佐賀大学発ベンチャー第1号)が、佐賀さいこう企業表彰を受賞しました!

佐賀大学発ベンチャー第1号である株式会社山城機巧が、第7回佐賀さいこう企業表彰を受賞しました。

佐賀県が主催する佐賀さいこう企業表彰では、佐賀県知事が認めた企業が表彰されます。県内企業の認知度向上やイメージアップ、従業員のモチベーションアップや働くことを誇りに思う気持ちを醸成するとともに、県民が佐賀県を誇りに思うことや県外に流出している高校生や大学生等の県内企業への就職につなげることを目的とするものです。

第7回となった今年度は、佐賀県下から、山城機巧をはじめとする7つの企業が選ばれました。山城機巧の受賞理由は以下の通りで、座圧軽減装具フワットをはじめとするオリジナルな福祉機器の開発などが高く評価されました。

〈授賞理由〉

「学生起業家ならではのユニークな発想に基づき、腰の不調という身近な課題を解決できる新製品を開発している。」

株式会社山城機巧は、今後も独創的な商品・サービスを目指して、試作開発に取り組んでいくとのことです。

大学発ベンチャー

佐賀大学発ベンチャー 第3号誕生!

株式会社NEXS (ネクシス)

本学では、佐賀大学発ベンチャー第3号として、株式会社NEXSへ称号を授与いたしました。

(株)NEXSは、本学大学院工学系研究科博士後期課程2年の梶原 薪(かじはら しん)さんが代表取締役を務め、ITの地域への定着を目標にしており、「既存の製品をもっと安価に」することや「日常の中の些細な困りごとを解決する」ことに、主に取り組んでいます。

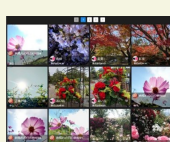


寺本センター長(左)から証書を受け取る株式会社NEXS代表の梶原 薪さん

(株)NEXSの注目事業

・フォトフリ

(<https://service.nexsjp.com/photofree/>)
「無料」で「自由」な「国産」画像素材サイト
面倒な制限無し! 動画もSNSもホームページもグッズも制限なく自由に利用可能



さがらボチャレンジカップ2021
最優秀賞受賞!

・スマートロックエコシステム(開発中)

スマートロックを中心としたエコシステム。1つのアカウントで様々なスマートロック端末を操作・管理できる他、使用状況閲覧、予約管理、空き施設検索等の機能と連動し、次世代の環境を提供することを目指します。



佐賀大学発ベンチャー 第4号誕生!

株式会社SA-GA (エスエー ジーエー)

本学では、株式会社SA-GAを佐賀大学発ベンチャーとして認定しました。本学で認定している佐賀大学発ベンチャーは、第1号の(株)山城機巧、第2号の(株)AS(アズ)、第3号の(株)NEXSに続き、(株)SA-GAで第4号目となります。

(株)SA-GAは、本学大学院理工学研究科博士後期課程1年の森山 裕鷹(もりやま ゆたか)さんが代表取締役を務め、「より多くの人々に情報技術を届けたい」という思いから、主に「学校のキャッシュレス化」に取り組んでいます。

(株)SA-GAの主な事業内容

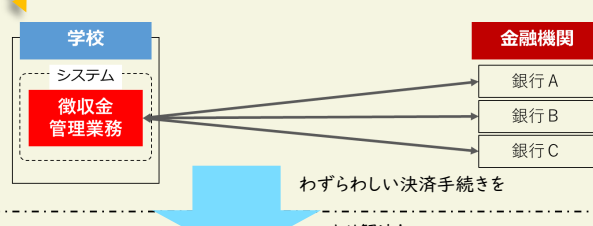
①学校PAY[®](ガッコウペイ)

-学校の事務負担軽減、働き方改革、DX
-吉野ヶ里町/有田町/唐津市でサービス提供中!

②その他決済サービス

-決済/収納代行サービス
-クレジットカード決済やスマホ決済、コンビニ決済など

学校PAY[®]は...



本学では研究成果を活用した新事業の支援等を目的に、「佐賀大学発ベンチャー」の認定制度を定めています!

佐賀大学のベンチャー支援

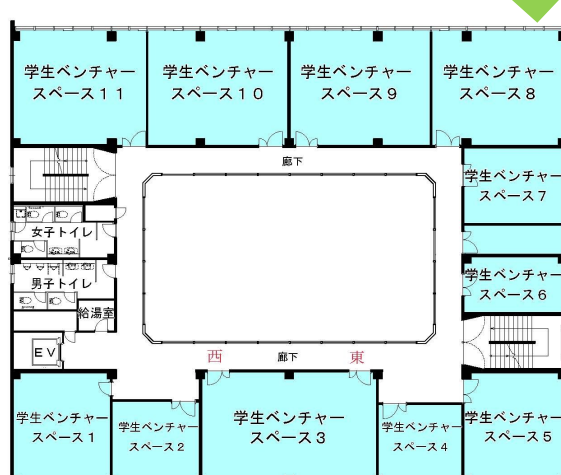
本学では、「佐賀大学発ベンチャー」の認定制度をはじめ、学生や研究者等を対象としたアントレプレナー育成プログラムとして起業家育成FD講演会を開催する等、ベンチャーの起業や育成を支援しています。

表紙でご案内した通り、今回新しく整備した産学交流プラザ2階を学生ベンチャー企業等に貸出し、一箇所に集まることでのイノベーションの創出を期待しています。現在、既に学生ベンチャースペースには4社の認定ベンチャーが入居しています。

学生ベンチャーの集積地!

佐賀大学産学交流プラザ2階
R3.10月末時点の入居状況

認定ベンチャー4号
株式会社SA-GA



認定ベンチャー2号
株式会社AS

認定ベンチャー1号
株式会社山城機巧

認定ベンチャー3号
株式会社NEXS

佐賀大学 産学交流プラザ インフォメーションコーナーのご紹介



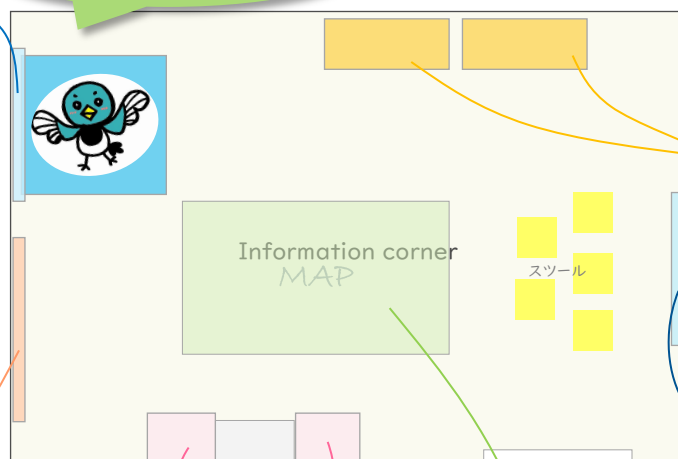
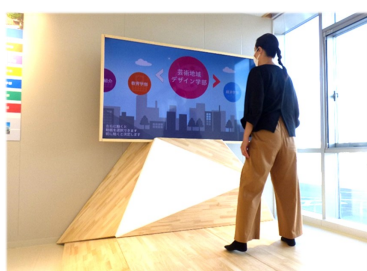
佐賀大学の新しい・面白い研究のご紹介や歴史や学部のご紹介を行っております。

お問い合わせ等は、産学交流プラザ内にURAが常駐するリージョナル・イノベーションセンターがございまして、お気軽にお問い合わせください。

上に乗って動くことで(荷重操作)
学部紹介動画等をご覧頂けます！

大学紹介動画放映

85インチモニターに非接触型選択(荷重操作)システムを導入し、大学概要及び6学部の紹介動画等をご覧頂けます。



最新研究成果展示

現在研究中の最新研究成果をショーケースで展示しています。

現在(令和3年10月)は過去のニュースレターでも紹介させて頂いた、共同開発品である“アサヒフットケア”シューズの展示と、ダイヤモンド半導体パワーデバイスの紹介を行っております。ダイヤモンドウェアは実物を電子顕微鏡でご覧頂けます。

佐賀大学の歴史及び施設紹介

歴史年表パネルで、旧制佐賀高等学校時代から現在までの歴史を紹介しています。



お知らせ、発行者等

本学作成の冊子や、セミナーやシンポジウム等イベント開催の案内等を展示しております。
気になるものがあれば、是非お持ち帰りください。

佐賀大学研究紹介

既存の研究紹介ビデオと、ショーケースに展示された最新研究成果の展示物を紹介するスライドを放映しております。



ぜひ皆さんで来て、見て、知って
体験してってくださいね！



床面 キャンパスマップ

3m×2mの大きな床面キャンパスマップで、はじめて佐賀大学にお越し頂いた方が、「どこに」「何が」あるかわかるように表示しています。

本学HPのキャンパスマップページにアクセス可能なQRコードも掲載しています。

佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター (SURIC) NEWS LETTER Vol.4

発行日：2021年11月

発行：国立大学法人佐賀大学 学術研究協力部 社会連携課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1

TEL：0952-28-8965

FAX：0952-28-8186

E-mail：sharen@mail.admin.saga-u.ac.jp

ニュースレターのご意見、ご感想等、
お気軽にお寄せください！



編集後記



本学本庄キャンパス正門横に『佐賀大学産学交流プラザ』が整備されました。産学連携に関するワンストップの支援を目的とした建物ですので、皆さんのお越しをお待ちしています。

私たち社会連携課も、建物3階へ12月初旬に移動予定です。新しい執務室で、心新たに頑張っていきたいと思います。

我が家の2歳の息子は日タイヤイヤがパワーアップしており、先日ははじめて見たエスカレーターを「カイダン、ウゴイテル…!!」と言って気に入り、何度も乗せろ乗せろと大騒ぎでした。その昔エスカレーターがはじめて世に出たときも、当時の人達は息子のように驚き感動したのかな、と思うと、何だか感慨深いなあと感じる出来事でした。